

Book Review



Reliable Dentistry Step 3 咬合再構成・問題点の把握・総合診断・治療計画

上田秀朗・酒井和正 編著

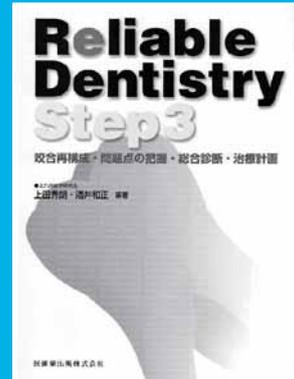


Reviewer

古谷野 潔

(九州大学大学院歯学研究院 インプラント・義歯補綴学分野)

A4 判変型, 176 頁
定価 12,600 円
(本体 12,000 円+税 5%)
医歯薬出版刊



1本1本の歯についての基本的な歯科治療を確実に実践することができたとしても、歯列、咬合、下顎位などを対象として全顎的に改善を図る必要がある複雑な症例となると、全体を見通した治療方針が立てられない、治療計画どおりに治療が進まないなどの経験をする場合も多いことと思う。本書は、そうした複雑な全顎的治療の進め方について記述、解説した実践的ガイドである。

本シリーズのStep 1においては、歯内療法、初期齲蝕、歯周治療、臼歯部の補綴治療を取り上げ、歯科治療の根幹をなす基本的な歯科治療について解説されている。Step 2ではアドバンス編として、限局矯正、審美修復、インプラント、総義歯を取りあげ、多様な症例の治療を紹介している。今回のStep 3では、咬合再構成を行う必要のある複雑な症例の治療の実際を多数提示し、基本的歯科治療を基盤にして、その上に何を積み上げていくべきかが解説されている。そして、複雑な症例の治療にあたっては、治療計画立

案の最初の段階で治療のゴールを明確にイメージしておくこと、基礎的治療を的確に行うだけでなく「全体的なバランス」を俯瞰的に見る目を養うことが重要と説いている。

本書ではまず、第1章で咬合再構成に取り組む際の心構えと手順について述べられている。第2章では少数歯欠損における咬合再構成、第3章では矯正治療を応用した咬合再構成、第4章では歯周病症例における咬合再構成、第5章では多数歯欠損における咬合再構成をとりあげ、北九州歯学研究会のメンバーが厳選した多数の症例を通して、難症例に対する対応が具体的に示されている。

それぞれの症例には、Step 1, Step 2で解説された基本的治療が重要な役割を果たしていることが示されている。また、多くの症例でそれらの基本的治療の一つの要素だけでなく、複数の要素が絡んだ治療が紹介されており、多くの問題を抱えた複雑な症例に対して、複数の基本的治療をどのように統合し、有機的に結びつけて治療の

成功に活用するかが示されている。

読者は、これらの症例を通読することで、全体的な考え方を学ぶことができる。また、自身の経験した症例と似た症例を本書で参照することで、自身の現在の症例の治療について具体的な指針を得ることができるであろう。そして、その上にそれぞれの読者の臨床経験が積み重ねられることで、患者さんにとって真に信頼される歯科治療の実践が可能になるであろう。

最後に、編著者自身が自戒の念も込めて本書の“はじめに”に記述している言葉を紹介したい。

「基本治療を習得することに重要な意味があり、それが大きな力となることを確信している。いかなるアドバンスな治療も基本治療の延長線上にしか存在しないこと、基本を疎かにして背伸びしチャレンジした場合のしっぺ返しは予想以上に厳しい…」

本書が3部から構成されている理由がここに明快に示されており、このことは歯科界の偉大な先人の多くが指摘する王道でもある。